

ふみびと

第309号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

贅沢な時間は 日々の中に

コーヒー一杯分の時間

たまたま少し早く起きた朝。いつもは慌ただしく支度をして、掻き込むように朝食を取って、仕事に出発するまでの「作業」を流れるように済ませたらそそくさと出かけるところ。

その日は余裕がある分、一つ一つの「作業」をそれぞれ少しずつゆっくりと行うことができたので、ほんの少し贅沢な気分。余裕を持って行うことでいつもの「作業」が「暮らし」の一部として楽し

めたような気がします。

「丁寧に生活しなさい」とは若い頃の父の言葉。

靴を揃えたり、シャツにアイロンをかけたたり、ゴミをその都度ゴミ箱に捨てたり、当たり前と言え

ば当たり前のことなだけけれど、気持ちに余裕がないときには意外とできない、ちよつとしたことを行える余裕を持つように、とよく言われたことを思い出します。

思えば子ども頃の頃、いつも父は会社に出かける



2時間近くも前には起きて、ゆつくりシャワーを浴びて、朝食を取ったあと、新聞にしつかりと目を通してからようやく出発していったものです。

いつも体を引きずるようになんとか布団から出ている私にとつて、毎日今より一時間早く起きることはなかなか難しいけれど、たまに気が向いた時だけでも早起きして、ゆつくりと家で過ごすから仕事に出たり、

余白

十一月になった。不思議なもので、月が変わった途端に風景も色を変えた気がする。季節としては同じ秋だけれど、一週間前より静けさと深みを増した景色が目に入る。それを見る自分の気持ちも「今の時期に外に出て楽しむ」とアクティブなものから「室内で本や音楽を味わいたい」

なのかもしれない。そう思うと、「四季」とは言っても季節は四つだけではないのだと感じる。同

じ秋の中でも、日々季節はうつろい、その時々でさまざまな色を見てくれる。自然というのとは違って豊かなものなんだろうと改めて感動する。きつと、こちらが目を凝らせばもっと豊かな季節を見させてくれるのだろう。その豊かさを受け止める心の余白を日々広げていけたらと思う。

風に乗って誰かに届け!

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ事務信同の返宛の筒にのりをつけて、局宛の筒にのりをつけて、封下まで流し込みます。



お知らせ

次回発送日

次回発送は28日の予定です。送りたいお手紙がある場合には、3日前(25日)までに事務局に到着することを、お近くの郵便局で確認の上、ポストに投函して下さい。12月も2回発送の予定です。

村からの願い

実際に文通村でお過ごし頂いている皆さんの声をウェブ上で掲載させて頂きませんかでしょうか。方法は事務局宛てにメモや便せんなどを同封ください。頂いたメッセージは個人情報伏せした上でご紹介させていただきます。

